

平成24年度点検及び評価表			
教育振興基本計画 基本構成	Ⅱ	生きる力をはぐくむ学縁都市 そうかの推進	担当課名 生涯学習課
基本目標	4	地域に根ざした生涯学習活動 の推進	
施策の方向	4－1 生涯をととした多様な学習機会の充実		
市民と行政の協働により、「学びの環境づくりを推進する」「学びの活発化を推進する」「学びのまちづくりを推進する」の3つの施策を体系化し、4つの重点プロジェクトをさらに推進します。 1 新たな学習システムの構築 様々な学習主体から提供される学習講座を総合化・体系化して選びやすく、学びやすく、継続しやすい学習システムを構築します。 2 生涯学習センター機能の整備 学習情報のほか、仲間同士のサークル・団体活動を含めて市民の学習全般を支援し、活性化するための学習相談や情報提供及び基本計画に定めた4つの重点プロジェクトを推進するための生涯学習センター機能を整備します。 3 地域学習圏づくりの推進 学習活動が身近な地域で行えるよう、小学校区を念頭において、その地域にある様々な資源を有効活用します。 4 市民と協働する学習活動の推進 学習環境の整備・充実を、市民との役割分担により進めます。			
活動 内容 実績	【学びの環境づくりの推進】 ・社会教育委員会議において検討を重ね、生涯学習センター機能の整備として生涯学習情報検索システムの構築の準備を進めました。 ・平成塾活動助成金の交付など平成塾を支援することで、地域学習圏づくりを推進しました。 【学びの活性化の推進】 ・そうか市民大学及び獨協大学オープンカレッジなど、さまざまな学習機会を提供しました。 ・生涯学習体験会や生涯学習フェスティバルの開催、生涯学習情報紙「マイ・ステージ20号」の発行を行い、市民と協働による学習活動を推進しました。 【学びのまちづくりの推進】 ・成人としての自覚と自立を促すとともに、ふるさと草加への意識を高めることでまちづくりにつながるよう、「新成人のつどい」を開催しました。 ・14の平成塾の活動支援を行うことで、異世代間の交流を進めました。		
	平成24年度点検評価委員の意見等		
・講師については幅広く市民の経験を活かすことを考え、人材の掘り起こし、活用を行っていただきたいと思います。 ・そうか市民大学の講座内容については、新鮮なものを取り入れるとテーマの選択も広がり、受講者の意識も高まると思っています。例えば、各地で行われているご当地検定のような草加をより深く知る企画を取り入れてみてはどうでしょうか。			

事務事業費 (財源内訳・単位円)		年 度	23年度 (決算額)	24年度 (決算額)	25年度 (予算額)
		総額(円)	9,068,336	13,421,041	16,004,000
		一般財源	7,660,336	12,172,241	14,664,000
		特定財源	1,408,000	1,248,800	1,340,000
個別 事務 事業 名	生涯学習推進体制整備事業		2,818,162	7,194,371	5,421,000
	そうか市民大学運営事業		1,950,174	1,926,670	2,094,000
	大学公開講座等推進事業		4,300,000	4,300,000	4,300,000
	新成人のつどい企画運営事業		—	—	4,189,000
施策 の 指 標	成果指標	平成24年度実績値	目標値(平成27年度)	自己採点・評価	
	生涯学習基本計画達成度 (第二次生涯学習基本構想・基本計画 の進捗状況調査による達成度)	83.90%	80.00%	「検討」であった課題を推進することができたため、昨年度より実績値を上げることができました。	
評 価	【学びの環境づくりの推進】〔評価 B〕 ・生涯学習センター機能の整備として、生涯学習情報検索システムの構築への道筋をつくることができました。 【学びの活性化の推進】〔評価 B〕 ・獨協大学オープンカレッジでは昨年を上回る参加者を得て、多様化する学習ニーズに応えることができました。 ・そうか市民大学にて元NHKアナウンサーの梅津正樹氏を学長に迎えることができました。 ・生涯学習情報紙「マイ・ステージ20号」において男性の生涯学習活動を取り上げ、男性の生涯学習活動への参加を促すきっかけづくりとなりました。 【学びのまちづくりの推進】〔評価 B〕 ・東日本大震災の影響により平成23年度開催を中止した平成塾活動合同発表会について、2年ぶりに開催し、平成塾利用者の相互交流を図ることができました。				
課 題	・生涯学習情報検索システムの構築について、関係機関とワーキンググループを立ち上げるとともに、運用基準についてルールを定める必要があります。 ・多様化する学習ニーズに応えるために、参加者へのアンケートのほか講師へのアンケートも実施することが必要です。 ・生涯学習フェスティバルについて、公民館や他の生涯学習施設等との連携による開催の検討を行います。 ・「新成人のつどい」について、参加者が会場内に余裕をもって入場できるよう、また成人としての自覚を持ってもらうような内容にするため、見直しが必要です。				
平成25年度以降の 取り組み	・そうか市民大学の開講、生涯学習情報紙の発行、平成塾の支援等を引き続き行います。 ・生涯学習情報検索システムの構築・運用開始のため、ワーキンググループの立ち上げ等を行います。 ・生涯学習フェスティバルの内容の見直しを行います。 ・「新成人のつどい」の開催会場や内容を見直し、成人としての自覚と自立を促す式典となるよう検討を行います。				
総合評価の基準 平成24年度の活動内容実績及び成果実績による総合的な自己評価です。 A：十分に目標が達成された。 B：相当程度目標が達成された。 C：目標の達成がやや不十分であった。 D：目標の達成が不十分であった。			総合評価		B

平成 2 4 年度点検及び評価表			
教育振興基本計画 基本構成	Ⅱ	生きる力をはぐくむ学縁都市そ うかの推進	担当課名 生涯学習課 中央公民館 中央図書館
基本目標	4	地域に根ざした生涯学習活動 の推進	
施策の方向	4－2 生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進		
生涯学習施設の整備にあたっては、地域性を考慮し、財源の確保を含め、幅広い視点から検討を行います。 中央公民館及び川柳文化センターでは、市民から求められる機能を考慮し、既存施設を活用しつつ財源的な課題を 踏まえ、耐震補強等必要な改修工事について、十分な検討を行います。 中央図書館では、市民の知的要求に応え、利用者が必要とする情報提供の場として、多様できめ細かなサービスを 提供します。 また、公民館図書室、小学校サービスコーナー、地域開放型図書室の充実及び効果的な運営を推進します。			
活動 内容 実績	【地域における生涯学習施設の整備】 ・各公民館が掲げる事業目標に沿った主催事業として、青少年教育事業37事業、成人教育事業81事業、高年者教育事業19事業、総合教育事業31事業、音楽と文化のまちづくり事業30事業の計198事業を実施しました。 ・施設管理については、計画的及び緊急修繕を実施し、利用者の安全確保に努めました。 ・(仮称)谷塚西文化センター建設事業においては、環境事前調査を行い(5月～8月)、建設工事に着手しまし た。(10月) 【身近で地域性を生かした学習機会の提供】 ・14の平成塾の参加による第15回平成塾活動合同発表会を開催しました。(7/3～7/6) また、各平成塾において 児童との交流事業等を実施しました。(通年) 【中央図書館の充実】 ・図書館の施設管理では、施設・設備の計画及び緊急修繕を行い学習環境を整備しました。 ・図書館情報サービスでは、資料の計画的な整備を行いました。 ・図書館機能の向上を図るため、視覚障害者サービスの充実や視聴覚資料の予約を開始しました。 ・文化事業も計画的に推進し、講演会等の事業を実施しました。 ・獨協大学図書館との連携については、紹介制度の広域化について協議を行いました。		
	平成 2 4 年度点検評価委員の意見等		
・草加市の特色である平成塾は育ってきていると感じます。それぞれの平成塾が特色を出して、引き続き主体的な活動 を行っていただきたいと思います。 ・図書館の指標については、貸出冊数だけでなく図書館の主な機能の一つであるレファレンスにも着目したものを成果 指標にすることを検討してみてもどうでしょうか。			

事務事業費 (財源内訳・単位円)		年 度	23年度 (決算額)	24年度 (決算額)	25年度 (予算額)
		総額(円)	287,703,745	367,985,754	604,444,000
		一般財源	239,745,239	274,532,041	321,624,000
		特定財源	47,958,506	93,453,713	282,820,000
個別 事務 事業 名	公民館等事業(6公民館)		141,160,778	142,540,364	143,387,000
	(仮称)谷塚西文化センター建設事業		6,737,100	101,937,550	334,189,000
	平成塾設置・管理運営事業		1,871,928	2,045,802	2,073,000
	図書館情報サービス・管理運営事業		137,933,939	121,462,038	124,795,000
施策 の 指標	成果指標	平成24年度実績値	目標値(平成27年度)	自己採点・評価	
	①公民館利用者数 ②図書館利用者貸出数	① 559,030人 ②1,349,836冊	① 580,000人 ②1,462,000冊	①おおむね目標値を達成しました。 ②平成22年度から減少しています。	
評価	【地域における生涯学習施設の整備】〔評価 A〕 ・各公民館が掲げる事業目標に沿った主催事業として、青少年教育事業37事業、成人教育事業81事業、高齢者教育事業19事業、総合教育事業31事業、音楽と文化のまちづくり事業30事業の計198事業を実施しました。 ・施設管理については、計画的及び緊急修繕を実施し、利用者の安全確保に努めました。 ・(仮称)谷塚西文化センター建設事業においては、建設工事を予定どおり進めました。 【身近で地域性を生かした学習機会の提供】〔評価 B〕 ・14の平成塾の活動を支援し、地域における生涯学習を推進しました。 【中央図書館の充実】〔評価 B〕 ・計画的な図書資料の整備や利便性の向上を図るとともに、学校との連携によるサービスコーナー及び地域開放型図書室、公民館図書室のサービスの充実に努めました。 ・平成24年度の蔵書冊数は前年度比6,307冊・点の増加、貸出冊数は前年度比16,703冊・点の減少、レファレンスサービスは前年度比1,318件の減少となりました。 ・視覚障がい者サービスでは、従来のカセット録音から最新式のデジタル録音システムに切り替え、サービスの向上を図りました。				
	・中央公民館及び川柳文化センターについては、施設の老朽化が進み、耐震補強工事等が必要になっていることから検討を行います。また、(仮称)谷塚西文化センター建設事業においては、平成26年4月1日のオープンに向け、名称の決定、公民館の設置及び管理条例の改正、備品購入、引越等の業務を遺漏なく進める必要があります。 ・図書館では、設備全体の稼働率が高く、部品等の消耗が激しいため緊急修繕が増加しています。また、節電対策として、館内の照明設備改修を検討する必要があります。平成22年度から、中央図書館の入館者数及び貸出冊数、地域開放型図書室の貸出冊数が減少しています。				
平成25年度以降の取り組み	・中央公民館及び川柳文化センターの耐震補強工事については、市の公共施設全体の調整が図られる中で、耐震診断実施に向けて準備を進めます。 ・公民館サポーター制度につきましては、制度化に向けた研究など検討作業を進めます。 ・(仮称)谷塚西文化センターにおいては、平成26年4月1日のオープンに向け、建設工事を竣工させ、各種の事務手続を進めます。 ・14の平成塾の活動を引き続き支援し、各地域における世代間交流の活性化を図ります。 ・中央図書館が開館して13年における少子高齢化の進展や情報通信機器の進化等を踏まえ、単に図書資料の貸出をする施設ではなく、年齢、性別を問わず利用者の知的要求を満たす生涯学習の拠点施設として、的確に対応する資料の整備・充実に努めます。また、利用者に快適な学習環境を提供するとともに、省エネルギー対策に積極的に取り組みます。				
	総合評価の基準 平成24年度の活動内容実績及び成果実績による総合的な自己評価です。 A：十分に目標が達成された。 B：相当程度目標が達成された。 C：目標の達成がやや不十分であった。 D：目標の達成が不十分であった。		総合評価		B

平成 2 4 年度点検及び評価表			
教育振興基本計画 基本構成	Ⅱ	生きる力をはぐくむ学縁都市そ うかの推進	担当課名 生涯学習課
基本目標	4	地域に根ざした生涯学習活動 の推進	
施策の方向	4－3 文化遺産の発掘・保存等の計画的継続的な取り組みの推進		
平成22年度に策定した「草加市文化財保護基本計画」の方向性を踏まえ、「文化財保護意識の形成」「文化財保護体制の確立」「文化財保護施設の整備」の3つの大きな柱とし、個々の取り組みを推進します。			
活動内容実績	【文化財保護意識の形成】 ・歴史民俗資料館では、草加の歴史等を学ぶ企画展や歴史講座を年間を通じて開催しました。 ・文化財保護審議会委員の協力により『草加市の歴史と文化財ハンドブック』を刊行しました。 【文化財保護体制の確立】 ・『文化財調査報告書(29)』を刊行しました。 ・指定文化財のパトロールを行い、現況調査をするとともに、指定文化財所有者・管理者のご意見やご要望を伺いました。その結果、解説板2基を新調しました。 ・「藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵」の国の登録有形文化財(建造物)登録に向けての事務処理を進め、登録が内定しました。(平成24年12月14日 文化審議会答申) ・文化財保護係を創設しました。 【文化財保護施設の整備】 ・収蔵室を平成25年度に教育資料室として公開するため、収蔵室内に保管されていた資料を氷川小学校へ移動しました。デジタル化を行ってきた収蔵資料台帳を基にした収蔵資料検索システムを構築しました。		
	平成 2 4 年度点検評価委員の意見等		
・『草加市の歴史と文化財ハンドブック』は、良くできています。児童生徒はもちろん、他市から転入された教師の草加を知る資料として、ぜひ活用してもらいたいと思います。			

事務事業費 (財源内訳・単位円)		年 度	23年度 (決算額)	24年度 (決算額)	25年度 (予算額)
		総額(円)	14,330,545	11,362,698	11,779,000
		一般財源	7,612,100	11,316,698	11,698,000
		特定財源	6,718,445	46,000	81,000
個別 事務 事業 名	文化遺産の発掘・保存・有効活用推進事業		1,670,545	2,404,331	4,169,000
	歴史民俗資料館管理運営事業		6,734,645	8,958,367	7,610,000
	(緊急雇用)歴史民俗資料館資料カードデジタル化事業		5,925,355	—	—
施策 の 指標	成果指標	平成24年度実績値	目標値(平成27年度)	自己採点・評価	
	歴史民俗資料館来館者数	15,497人	14,500人	平成23年度よりも来館者数は少ないが、目標値を上回りました。	
評価	【文化財保護意識の形成】〔評価 A〕 ・『草加市の歴史と文化財ハンドブック』は、ハンディサイズで、写真やイラストを多用したオールカラー版としたことから、読みやすく市民から草加市を訪れる方まで幅広く活用いただける仕様に仕上がりました。 【文化財保護体制の確立】〔評価 A〕 ・『文化財調査報告書(29)』において、地域の年中行事である八幡神社祭礼と神明宮祭礼についての記録を残すことができました。 ・指定文化財のパトロールをし、指定文化財所有者・管理者の疑問や要望を聞くことにより、指定文化財を保護していくことへの理解と協力を得ることができました。 ・「藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵」が国の登録有形文化財(建造物)に登録が内定したことにより、貴重な文化遺産である建造物を保護し、将来にわたり継承していくことができます。 ・文化財保護係の創設により、組織の充実が図れました。 【文化財保護施設の整備】〔評価 B〕 ・収蔵資料検索システムの導入により、インターネット回線を通じた歴史民俗資料館の資料の検索や、来館者への動画・クイズを通じた草加の歴史や文化の学びの場を提供できるようになりました。				
	・市内の文化財を将来にわたり保存するには、社会全体に文化財を知ってもらい、継承していくことが必要です。				
課題					
平成25年度以降の 取り組み	・国の登録有形文化財(建造物)に登録された「藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵」は、広報やホームページ等を活用し広くその価値を伝えるとともに、記念事業を企画・開催します。 ・歴史民俗資料館の開館30周年(平成25年11月1日)に合わせ、2階第1収蔵室に設置が予定されている教育資料室について、改修の内容を決定し、記念式典を行い、また、講演会の開催や記念誌の発行をとおして、当館のこれまでの歩みを市民とともに振り返ることで、今後のPR活動につなげます。				
総合評価の基準 平成24年度の活動内容実績及び成果実績による総合的な自己評価です。 A：十分に目標が達成された。 B：相当程度目標が達成された。 C：目標の達成がやや不十分であった。 D：目標の達成が不十分であった。			総合評価		A

平成 2 4 年度点検及び評価表				
教育振興基本計画 基本構成	Ⅲ	人権を尊重しあう教育の推進	担当課名	指導課
基本目標	5	人権教育の推進		
施策の方向	5－1 学校人権教育の推進			
学校における多様な学習の機会を通して、人権を大切にしよう教育を推進し、子どもの人権擁護の視点に立ち、基本的人権を尊重する意識の醸成・定着・高揚に努めます。 豊かな人権感覚を身につけ、主体的に行動できる児童生徒の育成を図ります。				
活動内容実績	【学校人権教育の推進】 ・外部指導者を招へいしての管理職研修(校長、教頭別)を実施しました。 ・草加市で実施している初任者研修及び3年次教員研修、5年経験者研修会で外部講師を招へいした人権教育研修会を実施しました。 ・人権作文、人権標語の作成を全小中学校で取り組み、人権文集「なかま」を発行しました。 ・夏季休業中に各学校の人権教育担当者が参加する現地研修会を実施しました。 ・教育委員会で保管している75種90本のDVDやビデオを研修等で活用するため学校等へ貸し出しました。			
平成 2 4 年度点検評価委員の意見等				
・教師が様々な研修で得たものを子どもたちにしっかり伝えることによって、人権意識を高め、人権教育の推進を図ってほしいものです。				

事務事業費 (財源内訳・ 単位円)		年 度	23年度 (決算額)	24年度 (決算額)	25年度 (予算額)
		総額(円)	1,966,676	1,952,124	2,123,000
		一般財源	1,966,676	1,952,124	2,123,000
		特定財源	0	0	0
個別 事務 事業 名	学校人権教育推進事業		1,966,676	1,952,124	2,123,000
施策 の 指標	成果指標	平成24年度実績値	目標値(平成27年度)	自己採点・評価	
	①児童生徒の人権課題認識度 ②人権教育・啓発事業等の参加率	①91.5% ②53.0%	①93.0% ②48.0%	①人権課題認識度の向上が図られているため、今後も継続させていきます。 ②目標値を達成しました。	
評価	【学校人権教育の推進】〔評価 B〕 ・人権作文、人権標語へ児童生徒の53.0%が応募し、平成27年の目標48%を大きく上回り、人権教育・啓発事業等の参加率を高めることができました。 ・人権文集「はばたき」の最優秀作品に2年連続中学生が選出され、南部地区人権教育実践報告会で代表となりました。 ・夏季休業中に実施される南部地区人権教育実践報告会を受け、市内32校全校において校内研修会を開催し、内容の伝達を行い人権意識の高揚を図りました。 ・川崎市で行われた草加市人権教育推進協議会現地研修会の感想に「人権教育の重要性を再確認することができた」「差別に苦しんでいる方々の苦労が実感できた」等積極的なものが多くあり、教員の意識の高揚につながることができました。				
	・人権意識をさらに高揚させるための取り組みを確実に実施していきます。				
課題					
平成25年度以降の 取り組み	・学校人権教育の事業内容を精選し、対象に合わせた研修を推進します。				
総合評価の基準 平成24年度の活動内容実績及び成果実績による総合的な自己評価です。 A：十分に目標が達成された。 B：相当程度目標が達成された。 C：目標の達成がやや不十分であった。 D：目標の達成が不十分であった。			総合評価		B

平成 2 4 年度点検及び評価表				
教育振興基本計画 基本構成	Ⅲ	人権を尊重しあう教育の推進	担当課名	生涯学習課
基本目標	5	人権教育の推進		
施策の方向	5－2 社会人権教育の推進			
より多くの市民が人権の課題について考え、より身近なものとして捉えることができるよう、吉町集会所や公民館における学習機会の充実に努め、全ての人が相互に存在を認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指します。				
活動内容実績	【社会人権教育の推進】 ・吉町集会所の成人・女性・少年教室及び集会所まつりを開催し、人権問題に対する理解を深め、人権意識の高揚を図りました。 ・公民館において人権教育講座や講演会等を行い、様々な人権問題に対して理解を深めていけるような学習の場を提供しました。 ・草加市連合婦人会と共催で人権教育講演会を開催し、幅広い人権教育の推進を図りました。			
平成 2 4 年度点検評価委員の意見等				
・公民館人権講座におけるアンケートについて、設問等を見直したことが良かったと思います。さらに記述の項目を増やすことによって参加者の意見を引き出すようなアンケートであれば、一層理解の度合いを知ることができるのではないのでしょうか。				

事務事業費 (財源内訳・単位円)		年 度	23年度 (決算額)	24年度 (決算額)	25年度 (予算額)
		総額(円)	3,359,586	1,844,563	2,097,000
		一般財源	2,039,216	1,843,883	2,096,000
		特定財源	1,320,370	680	1,000
個別 事務 事業 名	社会人権教育推進事業		3,359,586	1,844,563	2,097,000
評価	【社会人権教育の推進】〔評価 B〕 ・平成23年度未実施の少年教室について、地域の団体の協力により新たに講師を依頼し開催することができ、人権教育の年齢層の拡大を図ることができました。 ・公民館人権教育講座では、参加者の人権問題への理解が深まるよう、幅広く人権に関わる問題を取り上げました。 ・草加市連合婦人会との共催による人権教育講演会では、参加者の人権意識が深まったことがアンケートにより把握できました。(回答者の78%)				
課題	・吉町集会所の維持管理について適切な修繕等をする必要があります。 ・複雑化する人権問題について、講演会等で幅広く取り上げていくとともに人権に対する意識や理解の向上を把握する必要があります。				
平成25年度以降の 取り組み	・吉町集会所の利用促進を図り、必要な修繕等を行います。 ・成人・女性・少年教室を引き続き開催します。 ・公民館事業として引き続き人権教育講座の開催に取り組みます。				
総合評価の基準 平成24年度の活動内容実績及び成果実績による総合的な自己評価です。 A：十分に目標が達成された。 B：相当程度目標が達成された。 C：目標の達成がやや不十分であった。 D：目標の達成が不十分であった。			総合評価	B	

平成 2 4 年度点検及び評価表			
教育振興基本計画 基本構成	施策体系外事業	担当課名	総務企画課
基本目標	施策体系外事業		
施策の方向	施策体系外事業		
定例の教育委員会と必要に応じ開催される臨時会により、教育行政の方針その他所掌事項の事務処理をするとともに、研究会等を行い教育行政のさらなる活性化を図ります。 職員人事関係、草加市教職員等の表彰、総務企画課事務管理運営、職員研修、各種協議会負担金等及び旅費、教育委員会臨時職員健康管理、「草加の教育」「教育だより」発行及び学校臨時職員に係る経費を執行することにより、事務局及び学校給食等の円滑な運営を図ります。			
活動 内容 実績	【教育委員会運営事業】 ・教育委員会定例会12回、臨時会2回(いじめ対策、管理職人事等)、協議会17回、内部統制会議12回を開催しました。 【総務企画課管理運営事業】 ・草加市教育振興基本計画の進行管理を実施し、予算編成との連動を図りました。 ・平成23年度教育委員会の事務に関する点検及び評価を実施し、報告書を市議会に提出し、公表しました。 ・教育長秘書業務、市職員人事、臨時職員の労務管理を行いました。 ・「そうか教育だより」「草加の教育」を発行しました。 ・教育委員会ホームページを立ち上げ、更新作業チームを設置しました。 ・安全衛生委員会を開催し、給食室職場訪問を実施しました。 ・学校市職員特別講座研修を実施し、調理士、栄養士、技能員等の資質向上に努めました。		
	平成 2 4 年度点検評価委員の意見等		
・草加市教育振興基本計画と事務点検及び評価が連動できたことは、PDCAサイクルが機能することになり、大変評価できます。 ・草加のおいしい給食を維持発展していくためには、調理士・栄養士の確保が大切です。			

事務事業費 (財源内訳・単位円)		年 度	23年度 (決算額)	24年度 (決算額)	25年度 (予算額)
		総額(円)	378,274,094	384,546,929	404,657,000
		一般財源	378,274,094	384,546,929	404,657,000
		特定財源	0	0	0
個別 事務 事業 名	教育委員会運営事業		4,561,420	4,536,959	4,658,000
	総務企画課管理運営事業		373,712,674	380,009,970	399,999,000
評価	【教育委員会運営事業】〔評価 B〕 ・教育委員会定例会等を円滑に運営しました。 【総務企画課管理運営事業】〔評価 B〕 ・草加市教育振興基本計画の進行管理を実施し、平成23年度教育委員会の事務に関する点検及び評価との連動に向け、方策を検討しました。 ・教育委員会ホームページを開設し、教育委員会会議録の公表を開始しました。 ・臨時職員の採用、適正配置を通じて、臨時職員の活用を図りました。				
課題	・内部統制会議審議事項の見直し ・教育委員会ホームページの充実 ・臨時職員の円滑な欠員補充(調理士、栄養士適任者の人材確保が難しくなっています。) ・臨時職員労務管理全般の事務作業の効率化				
平成25年度以降の 取り組み	【教育委員会運営事業】 ・教育委員会の事務に関する点検及び評価と草加市教育振興基本計画の進行管理の連動を図り、PDCAサイクルを確立します。 【総務企画課管理運営事業】 ・教育委員会ホームページの内容の検討・充実を図ります。 ・ハローワークや大学就職部との連携を密にし、人材の確保に努めます。 ・賃金支給事務のシステム化の準備を進めます。				
総合評価の基準 平成24年度の活動内容実績及び成果実績による総合的な自己評価です。 A：十分に目標が達成された。 B：相当程度目標が達成された。 C：目標の達成がやや不十分であった。 D：目標の達成が不十分であった。			総合評価		B

資 料

草加市教育振興基本計画・施策体系図

基本理念	基本構成	基本目標	施策の方向
生きる力を共に教え育てる草加の教育	I 生きる力を育てる学校教育の推進	1 一人ひとりのよさや可能性が発揮される学校教育の推進	1-1 学ぶ力を伸ばす児童生徒の育成
			1-2 心豊かな児童生徒の育成
			1-3 健康でたくましい児童生徒の育成
			1-4 きめ細かな特別支援教育の充実
			1-5 一人ひとりに応じた就学支援の充実
		2 安全安心な教育環境整備の推進	2-1 計画的な学校教育施設整備の推進
			2-2 魅力ある教育環境の推進
		3 学校・家庭・地域の連携の推進	3-1 家庭・地域の教育力の向上
			3-2 組織力を生かした学校経営の推進
			3-3 子ども教育の連携の推進
	II 生きる力をはぐくむ学縁都市そうかの推進	4 地域に根ざした生涯学習活動の推進	4-1 生涯をととした多様な学習機会の充実
			4-2 生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進
			4-3 文化遺産の発掘・保存等の計画的継続的な取り組みの推進
	III 人権を尊重しあう教育の推進	5 人権教育の推進	5-1 学校人権教育の推進
			5-2 社会人権教育の推進

平成24年度草加市小中学校学年別児童・生徒数・学級数等一覧表

(平成24年5月1日現在)

	学校数	児童・生徒数	学 級 数			県費教職員数		
			通常学級	特別支援学級	計	男	女	計
小 学 校	21	13,617	407	32	439	249	404	653
中 学 校	11	6,549	182	18	200	220	161	381
計	32	20,166	589	50	639	469	565	1,034

(小学校)

No.	学校名	創立記念日	開校記念日	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級		計		県 費 教 職 員 数								
				児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	校長	教頭	主幹 教諭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	学校 栄養 職員	計
1	草 加	明5. 5. 15	5月15日	121	4	135	4	119	3	129	4	138	4	135	4	12	2	789	25	1	1	1	30	1		1	1	36
2	高 砂	昭29. 4. 1	9月18日	158	5	157	5	154	4	146	4	159	4	180	5	9	2	963	29	1	1	1	35	2	1	2		43
3	新 田	明6. 4. 26	4月26日	86	3	89	3	102	3	108	3	102	3	127	4	14	2	628	21	1	1	1	23	1		1	1	29
4	谷 塚	明6. 1. 25	1月25日	160	5	134	4	161	5	147	4	173	5	147	4	10	2	932	29	1	1	1	34	2		2	1	42
5	栄	昭38. 4. 1	5月2日	98	3	97	3	115	3	109	3	111	3	105	3	7	2	642	20	1	1		26	1		1	1	31
6	川 柳	明6. 1. 15	4月12日	116	4	134	4	91	3	107	3	113	3	112	3	1	1	674	21	1	1		25	1	1	1		30
7	瀬 崎	昭42. 4. 1	5月4日	100	3	121	4	130	4	134	4	119	3	128	4	8	2	740	24	1	1		30	1		1	1	35
8	西 町	昭42. 4. 1	1月23日	118	4	138	4	133	4	134	4	143	4	117	3	6	1	789	24	1	1		29	1	1	1		34
9	新 里	昭45. 4. 1	2月10日	118	4	116	4	127	4	115	3	135	4	133	4	4	1	748	24	1	1	1	29	1		1	1	35
10	花 栗 南	昭47. 4. 1	5月10日	72	3	61	2	75	2	77	2	91	3	92	3	6	2	474	17	1	1		21	1		1		25
11	八 幡	昭48. 4. 1	9月29日	133	4	126	4	153	4	146	4	161	5	115	3	18	4	852	28	1	1		36	2		2	1	43
12	新 栄	昭49. 4. 1	11月22日	74	3	82	3	77	2	66	2	66	2	61	2	4	1	430	15	1	1		18	1		1	1	23
13	清 門	昭51. 4. 1	9月14日	170	5	160	5	179	5	176	5	179	5	165	5	10	2	1,039	32	1	2		40	2	1	2		48
14	稲 荷	昭52. 4. 1	5月4日	78	3	103	3	98	3	97	3	104	3	97	3	4	1	581	19	1	1		23	1		1	1	28
15	氷 川	昭52. 4. 1	9月16日	83	3	87	3	95	3	87	3	108	3	91	3	7	1	558	19	1	1		25	1		1	1	30
16	八 幡 北	昭54. 4. 1	5月4日	70	2	95	3	56	2	85	3	85	3	80	2	1	1	472	16	1	1		20	1		1		24
17	長 栄	昭55. 4. 1	7月1日	66	2	68	2	68	2	84	3	75	2	50	2	0	0	411	13	1	1		17	1	1	1		22
18	青 柳	昭57. 4. 1	5月4日	76	3	61	2	74	2	77	2	67	2	74	2	7	2	436	15	1	1		18	1		1		22
19	小 山	昭57. 4. 1	10月14日	69	2	86	3	108	3	93	3	90	3	120	3	2	1	568	18	1	1		21	1	1	1		26
20	両 新 田	昭57. 4. 1	5月4日	93	3	72	3	71	2	77	2	68	2	86	3	7	1	474	16	1	1	1	19	1		1		24
21	松 原	平21. 4. 1	5月23日	71	3	65	2	63	2	63	2	79	2	70	2	6	1	417	14	1	1		19	1		1		23
計				2,130	71	2,187	70	2,249	65	2,257	66	2,366	68	2,285	67	143	32	13,617	439	21	22	6	538	25	6	25	10	653

(中学校)

1	草 加	昭22. 4. 1	4月23日	215	6	244	7	216	6							14	2	689	21	1	2		35	1		2	1	42
2	栄	昭22. 4. 1	11月2日	180	5	163	5	149	4							14	3	506	17	1	1		28	1		1	1	33
3	谷 塚	昭22. 4. 1	5月3日	242	7	224	6	260	7							19	3	745	23	1	1	1	37	1	1	2		44
4	川 柳	昭22. 4. 1	5月1日	191	6	203	6	207	6							9	2	610	20	1	1		32	1	1	1		37
5	新 栄	昭49. 4. 1	5月4日	227	6	203	6	196	5							7	2	633	19	1	1		30	1	1	1		35
6	瀬 崎	昭51. 4. 1	5月4日	277	8	280	7	257	7							3	1	817	23	1	1	1	37	2		2	1	45
7	花 栗	昭52. 4. 1	5月24日	179	5	173	5	183	5							5	2	540	17	1	1	1	26	1		1		31
8	両 新 田	昭54. 4. 1	5月4日	186	5	175	5	180	5							0	0	541	15	1	1		26	1		1		30
9	新 田	昭55. 4. 1	7月1日	172	5	172	5	149	4							5	1	498	15	1	1		24	1		1		28
10	青 柳	昭56. 4. 1	7月7日	140	4	166	5	132	4							4	1	442	14	1	1	1	22	1		1		27
11	松 江	昭60. 4. 1	6月27日	191	6	177	5	157	4							3	1	528	16	1	1		25	1		1		29
計				2,200	63	2,180	62	2,086	57							83	18	6,549	200	11	12	4	322	12	3	14	3	381

草加市教育委員会事務点検及び評価実施要綱

平成20年10月10日
教委告示第20号

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第27条の規定により、草加市教育委員会(以下「委員会」という。)がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について行う点検及び評価(以下「点検及び評価」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象は、委員会の権限に属する前年度実施した事務とする。

(点検及び評価の実施)

第3条 前条に規定する事務について、所管する課及び室等が点検及び評価表を作成する。

2 点検及び評価の方法及び結果について、客観性及び透明性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者(以下「点検評価委員」という。)から意見を聴取する。

3 点検及び評価に関し必要があると認めたときは、会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

4 点検及び評価が終了したときは、速やかに当該結果を委員会に諮るものとする。

(点検評価委員)

第4条 点検評価委員は3人とし、委員会が委嘱する。

2 任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、点検評価委員が欠けた場合は、前任者の残任期間において、新たな点検評価委員を委嘱するものとする。

(市議会への報告等)

第5条 点検及び評価の結果は、毎年市議会9月定例会に報告し、かつ公表するものとする。

(点検及び評価結果の反映)

第6条 委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、事業への取組、予算編成等を行うものとする。

(庶務)

第7条 点検及び評価に関する庶務は、教育総務部総務企画課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 第5条の規定にかかわらず、平成20年度における市議会への報告は、12月定例会とする。

草加市教育委員会

〒340－8550 草加市高砂一丁目1番1号

電 話：048－922－2497（総務企画課）

F A X：048－928－1178